

北 振 発 第 109 号  
令和6年(2024年) 8 月 9 日

各 市 町 村 長 様

公益財団法人北海道市町村振興協会  
理 事 長 原 田 裕  
( 公 印 省 略 )

令和6年度(2024年度)いきいきふるさと推進事業助成金に係る実績報告書等の提出について(通知)

このことについて、「いきいきふるさと推進事業助成金交付要綱」第10条の規定に基づく実績報告書等を、別添の「実績報告の手引き」を参照の上、次により提出してください。

## 記

### 1 提出期限

事業終了後、1カ月以内に提出してください。 ※最終提出期限 令和7年(2025年)2月28日(金)

〔 提出期限を過ぎた場合には、助成金を交付しません。  
(当協会は出納整理期間を有しておらず、助成金の交付に支障があるため、上記期限を厳守してください。) 〕

### 2 提出書類

別紙1「いきいきふるさと推進事業助成金 実績報告【提出書類一覧】」、実績報告書、必要な添付書類及び事業成果品等を提出してください。なお、実績報告書等の様式データは、当協会ホームページでダウンロードしてください。  
(申請書等ダウンロード [https://do-shinko.or.jp/dl\\_application/](https://do-shinko.or.jp/dl_application/) )

### 3 提出部数 各 1 部

### 4 留意事項

実績報告書等の提出に当たっては、次の事項に留意してください。

- (1) 事業の中止を決定又は事業の縮小や助成対象経費の減により、助成金額の下限(50万円)を下回ることが確定した場合には、速やかに助成申請取下書(別記第4号様式)を提出してください。
- (2) 助成決定後、次に掲げる事項を変更する場合は、事前に「変更届(別記第2号様式)」の提出が必要です。
  - ア 事業名の変更(事業名を「仮称」として助成決定を受けた事業を含む。)
  - イ 事業内容の著しい変更に伴い、予算額の20%に相当する経費の増減が生じる場合
- (3) 助成事業で作成した成果品等には、市町村振興宝くじ(通称:サマージャンボ宝くじ)の収益金を活用した事業である旨の広報表示が必要です。詳細は別紙2を参照してください。
- (4) 「研修等事業」及び「試験研究事業」については、事業実施(成果)報告書を必ず添付してください。

〔 事業推進担当 平手、西出、野村  
TEL011-232-0281 FAX011-221-5866  
E-mail:z-4@do-shinko.or.jp(平手) 〕

いきいきふるさと推進事業助成金 実績報告 【提出書類一覧】					
区分	提出書類		必要書類	確認欄	
変更届	別記第2号様式	いきいきふるさと推進事業変更届 ※事業名や事業期間の変更や、事業内容の著しい変更を行おうとする場合に提出してください。	○	<input type="checkbox"/>	
申請取下	別記第4号様式	いきいきふるさと推進事業助成申請取下書 ※やむを得ない事情により事業を中止した場合や、助成対象経費が交付要綱等で規定する下限額（100万円）を下回った場合に提出してください。	○	<input type="checkbox"/>	
実績報告書類	いきいきふるさと推進事業助成金 実績報告 【提出書類一覧】 ※この書類です。提出漏れが無いかわり必ず確認欄でチェックしてください。		○	<input type="checkbox"/>	
	様式	別記第6号様式	いきいきふるさと推進事業実績報告書 ※市町村長の公印押印が必要です。	○ 小規模事業	<input type="checkbox"/>
		別記第6号様式付表	助成金配分内訳及び振込先口座一覧表 【広域事業】 ※広域事業で複数の市町村に助成金を配分する場合に提出してください。	△ 広域事業	<input type="checkbox"/>
		別紙様式1	いきいきふるさと推進事業収支決算書 ※市町村の直営事業は【①市町村の収支決算】に記載。 ※実行委員会方式の事業は【①市町村】と【②実行委員会等】に記載。	○	<input type="checkbox"/>
		別紙様式1の付表1	支出（見込）内訳書 ※市町村の直営事業は【市町村】に記載。 ※実行委員会方式の事業は【市町村】と【実行委員会等】に記載。	○	<input type="checkbox"/>
	添付書類	添付資料（支出関係）	実行委員会等に対する市町村の負担金・補助金等 ⇒ 支出負担行為決議書、支出命令書の写し ⇒ 補助金の場合は補助指令書の写し	△ 実行委員会方式の事業	<input type="checkbox"/>
		請求書等	請求書・領収書の写し ※50万円を超える支出は、請求書・領収証（領収証が無い場合は金融機関等の振込受付書又は振込金受取書）の写しを添付してください。 ※書類の右肩に予算科目と整理番号を必ず記載してください。 ※事業実施主体が実行委員会等の場合でも必ず提出してください。 ※支出未済額がある場合は、金額にかかわらず、支出予定額を証明する契約書・請書及び請求書の写しを添付してください。助成対象経費に計上し、支出内訳書の支出年月日は「未払」、備考欄に「確定額」と記載してください。添付できない場合は、助成対象外経費に計上し、支出内訳書の支出年月日は「未払」とし、備考欄は「見込額」としてください。	○ 50万円を超える支出	<input type="checkbox"/>
				△ 支出未済額がある場合	<input type="checkbox"/>
		契約関係書類	契約書（請書）の写し ※50万円を超える支出については、写しを提出してください。 ※事業実施主体が実行委員会等の場合でも必ず提出してください。	○ 50万円を超える契約	<input type="checkbox"/>
		記録写真等	事業の記録写真、市町村広報誌の記事（写）、新聞記事（写） ※事業の記録として提出してください。 ※派遣研修等の事業は行程表と参加者名簿を必ず添付してください。	○	<input type="checkbox"/>
		成果品（現物提出）	ポスター、パンフレット、チラシ、冊子類、地図類 ノベルティ類 ※事業で作成した現物を提出してください。	○	<input type="checkbox"/>
		成果品（写真提出）	郵送等による提出が困難な成果品の写真 ※郵送等により提出が困難な成果品は写真を提出してください。	○	<input type="checkbox"/>
報告書		事業実施（成果）報告書 ※試験研究事業及び研修等事業の場合は必ず添付してください。	△	<input type="checkbox"/>	
※令和5年度まで必要だった歳入予算書（原本謄写）の提出は、令和6年度以降は省略します。					
※ 各様式は当協会ホームページ（ <a href="https://www.do-shinko.or.jp/">https://www.do-shinko.or.jp/</a> ）の「申請書等ダウンロード」に掲載しています。					

## いきいきふるさと推進事業助成金に係る宝くじ広報表示マニュアル

### 1 宝くじ広報表示の目的

いきいきふるさと推進事業助成金は、サマージャンボ宝くじ（市町村振興宝くじ）の収益金を原資として、市町村が実施する各種ソフト事業に対して助成金を交付しています。

しかし、近年は宝くじの販売額が低迷していることから、本助成制度の維持・継続には、安定的な収益金の確保に向け、宝くじ購買者である地域住民の理解の促進を図ることが極めて重要です。

このため、本助成金の交付を受けて実施するソフト事業については、事業実施主体である市町村や実行委員会等が、事業成果品等にサマージャンボ宝くじの広報宣伝を記載する旨を、いきいきふるさと推進事業助成金交付要綱（以下「交付要綱」という。）第13条で規定しています。

### 2 広報表示の例文

申請事業の実施形態等を勘案し、適した例文を使用してください。（フォント指定はありません）

【例文1】 ※推奨

この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています。

【例文2】

この△△（例：パンフレット等）はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して作成しています。

【例文3】

この事業は公益財団法人北海道市町村振興協会（サマージャンボ宝くじの収益金）の助成を受けて実施しています。

【例文4】

この△△（例：パンフレット等）は公益財団法人北海道市町村振興協会（サマージャンボ宝くじの収益金）の助成を受けて作成しています。

【例文5】

サマージャンボ宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに活用されています。

### 3 広報表示の記載対象

#### (1) イベント事業

来場者等に効果的に広報することができるよう、ポスターやパンフレットの分かりやすい位置に広報表示を必ず記載してください。

また、サマージャンボ宝くじの発売期間中に実施する事業は、イベント会場に市町村に配布している販売促進ポスター等を掲示する等の対応をお願いします。

#### (2) 研修事業

研修参加者に効果的に広報ができるよう、研修資料等に広報表示を必ず記載してください。

#### (3) 広報宣伝・情報通信事業

作成する印刷物（ポスター、パンフレット、その他の印刷物）やデジタルデータ（ホームページ、画像、動画、映像等）の分かりやすい位置に広報表示を必ず記載してください。

#### (4) 試験研究事業

成果報告書等の印刷物の分かりやすい位置に広報表示を必ず記載してください。

#### (5) 共通事項（市町村広報誌等による広報）

市町村が発行する広報誌等で事業を紹介する際には、事業成果品と同様に例文及び宝くじマスコット「クーちゃん」の表示を必ず記載してください。

## 4 宝くじマスコット「クーちゃん」の表示について

上記例文とともに、宝くじマスコット「クーちゃん」（A又はB）を必ず表示してください。

- ◆ いずれもカラーで使用する場合は、画像データの色を改変しないこと
- ◆ サイズを変更する場合は、縦横比率を改変しないこと
- ◆ 最小使用サイズは20mm とすること（印刷物のサイズやレイアウト、成果品の素材等の事情により、物理的・経費的にやむを得ないと判断される場合は、その限りではない）。



パターンA



パターンB

※ 画像データは、助成申請時の様式データ集に添付しています。

## 5 その他

### (1) 助成決定前に実施する事業について

助成決定前に事業に着手する等、当協会がやむを得ないと判断する事情により、例文1～4の表示を行うことができない場合には「例文5」の表示を記載するか、イベント会場で市町村に配布している販促ポスターを掲示したり、販促資材を配布したりする等の対応をお願いします。

### (2) 成果品への広報表示について

事業成果品には原則として、必ず広報表示を記載・表示する必要があります。特にイベントの参加者や住民、観光客等に効果的なPRを行うことができるポスターやパンフレット等には、印刷・製本の段階から必ず広報表示を記載してください。

### (3) 不適切な事例について

印刷物等の成果品を作成した時点で広報表示を行わず、実績報告書に添付した成果品のみに広報表示を貼付し、適正にPRを行った旨の報告を行う事例が散見されます。こうした不適切な取扱いが判明した場合、交付要綱第9条3項で規定する「助成事業実績報告書に必要な記載をせず、若しくは虚偽の記載をしたと認められる場合」に該当すると判断し、助成決定の一部又は全部を取消すほか、最長5年間、本助成金の交付が受けられなくなります。

## 6 サマージャンボ宝くじ広報表示に係るQ&A

Q1： 広報表示を行わなかった場合はどうなるのか。

A1： 本助成金は、サマージャンボ宝くじの収益金を原資として、市町村が実施するソフト事業を対象に交付しています。正当な理由がなく、広報表示を行わなかった場合、助成金を交付しない場合があります。また、次年度以降の助成申請も不採択とする場合があります。

Q2： 広報宣伝事業でポスター、パンフレット、クリアファイル、うちわ、Tシャツなど約20種類の広報資材を作成した。すべての資材に広報表示は必要なのか。

A2： すべての広報資材に表示する必要はありませんが、配布対象者に対して、最も効果的にサマージャンボ宝くじの広報宣伝を行うことができると考えられるものに表示してください。

Q3： 「サマージャンボ」を略して「宝くじ」だけの表示でもいいのか。

A3： 不可。「サマージャンボ宝くじ」と表示してください。

Q4： 他の団体（企業）からも助成金（協賛金）の交付を受けている。サマージャンボ宝くじだけの広報表示はできない。

A4： 本助成金を活用して事業を実施する場合、例外なく広報表示が必要であり、例外は認めない。

Q5： サマージャンボ宝くじの販売は営利事業ではないのか。営利事業の広報宣伝はできない。

A5： 営利事業ではありません。発売収益金は市町村の振興を支援する事業に活用しています。

Q6： 他の宝くじ（年末ジャンボ宝くじ等）のPRはしなくてもいいのか。

A6： 本助成金を活用して事業を実施する場合は「サマージャンボ宝くじ」のPRをお願いします。

Q7： 印刷物等の目立たない場所（奥付等）に記載さえしてあれば問題ないのか。

A7： 広報表示には該当しないと判断し、上記A1と同様の取扱いをする場合があります。



## 注意 !!

## 広報表示等の不適切な取扱いについて

広報表示を怠る事例や、印刷物等の成果品に事業実施主体の名称が記載されていない、他団体の名称を記載している等の問題事例が散見されます。こうした事例に対しては、当該成果品に係る支出を助成対象外経費として取扱う、事業に対する助成決定を取消す等の措置を講じる場合があります。

### ①冊子・ポスター・パンフレット等の取扱いについて（市町村主催のイベントを想定）

#### ○ 正しい広報表示等（イメージ）



・事業実施主体(町)の主催であることを明記している

・サマージャンボ宝くじの広報表示を正しく記載している

#### × 不適切な広報表示等（イメージ）



・事業実施主体ではない他団体の名称を記載している

・サマージャンボ宝くじの広報表示が無い  
・事業と無関係な告知を記載している

- ・市町村が主体的に関与する実行委員会等が事業実施主体である場合は、主催者として実行委員会の名称を明記
- ・市町村が事業者等に事業の実施を委託する場合は、主催者は市町村となる。（主催者≠委託業者）であることに留意

### ②その他の不適切な取り扱い事例について



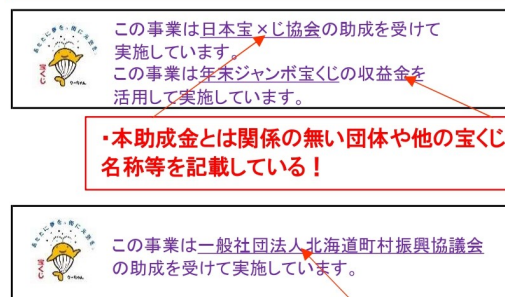
・広報表示を過度に縮小したため外見からは判読できない!



・印刷物裏面や冊子の奥付等、外見からは見えない場所に広報表示を掲載している!



・実績報告時の提出成果品のみに紙やテプラ等で広報表示を後付けで貼付。実際には表示を行っていない!



この事業は日本宝くじ協会の助成を受けて実施しています。  
この事業は年末ジャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています。

・本助成金とは関係の無い団体や他の宝くじの名称等を記載している!

この事業は一般社団法人北海道町村振興協議会の助成を受けて実施しています。

・当協会の名称を誤っている!